

# 施政方針と予算

令和7年第1回市議会定例会の初日（2月21日）、櫻田市長は施政方針演説を行い、新たな年度に向けた決意とともに、市が今後1年間目指していく方向を示しました。

今号では、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業などを紹介します。



## 令和7年度 施政方針

※「令和7年度施政方針」を要約・抜粋しました。

地方行政の運営の基本は、住民福祉の増進を図ることです。

市民の声を聴き、受け止め、市民の目線で、市民感覚で市政運営に取り組むことが重要であり、また、市民と共に歩み、市民が活躍できる場を作り、市民の納得感が得られるまちづくりを行うことが求められます。

昨年は、市民との協働により行った取組が脚光を浴び、そして、評価された年でありました。官民連携による援農ボランティアツアーが、「企業版ふるさと納税に係る大臣表彰」および「ディスカバー農山漁村の宝優秀賞」を受賞し、障がい者等の就労等の場と農業分野における働き手の確保が期待される農福学連携の取組が、「ノウフクアワード2024」を獲得したほか、ひろさきガイド学校の生徒や外国人留学生が弘前さくらまつりにおいて開始したインバウンドに対応した有償のガイドは、国や全国各地の観光団体から非常に大きな関心を集めております。これらはいずれも、市民との協働により、種をまき、育ててきたものが実を結び、地域に活気をもたらす、市内経済の循環にも寄与している好事例であります。

弘前市総合計画において、市政の基軸に据えている「健康都市弘前」の実現に向けて、これまでの取組の成果をしっかりと意識し、引き続き分野横断でさまざまな施策を着実に展開してまいります。県内唯一の「SDGs未来都市」、そして、昨年宣言した「ゼロカーボンシティひろさき」、まちのさまざまな機能を高めながら、このまちに住む「ひとの健康」、人々の営みによってもたらされる「まちの健康」、その先の将来を担う「みらいの健康」

の達成に向け、市民との協働、国や県、圏域市町村との連携をこれまで以上に強化し、市民の皆さまが将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりに、総力を挙げて取り組んでまいります。

近年の社会環境の大きな変化に伴い、中心市街地では老舗菓子店や百貨店の閉店、大型スーパーの撤退など、幕が閉じられる場面に直面している一方で、閉じた幕を再び開き、第二幕、第三幕に向けて歩みだすという動きも見られており、今こそピンチをチャンスに変えていかなければなりません。藩政時代以来、さまざまな困難を乗り越え、現在のまちが築かれてきております。今の時代を生きる私たちも、先人たちの歩みを止めることなく、次の世代に引き継いでいく必要があります。

弘前市総合計画は、令和8年度までを計画期間としており、本年から次期計画の策定準備に着手いたします。高校生や大学生等の若年層も含め幅広い世代の声を聴き、その意見や提案を最大限に反映させた計画となるよう努めてまいります。20年、30年先、そしてさらにその先を見据え、市民の皆さまがこれからの弘前をどのようなまちにしたいのか、そのまちの姿をこの津軽の広い天空を幕として描き、そして、大地に悠然と腰を据えるが如く「幕天席地<sup>びくてんせきち</sup>」の気概をもって将来を展望し、ふるさと弘前の持続的発展を図ってまいります。

弘前市長として常に念頭にあるのは、「市民生活を第一に」であります。市民生活を守るため、市民の期待と信頼に応えるため、力の限り全身全霊で市政運営にまい進してまいりますので、市民の皆さまにおかれましてはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（◆）幕天席地…気持ちが大きく、志が高いことを意味する四字熟語

令和7年度

## 主な事業を紹介

このほかの事業内容は、市ホームページおよび市情報公開コーナー（市役所2階）で見ることができる「令和7年度予算の概要」に掲載しています。

### 1 ひとの健康

#### すべての市民が健康で長生きできるまちづくり

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、まち全体で健康増進に取り組む「ひとの健康」の実現を目指します。

#### 弘前版PFS<sup>※1</sup> / SIB<sup>※2</sup> モデル事業

新規 予算額 4,321万1,000円

働き盛り世代をはじめ、広く市民の健康寿命の延伸を図るため、QOL健診とその結果を改善する健康プログラムを提供する取り組みをPFS事業として実施します。

（※1）PFS…成果連動型民間委託契約方式

（※2）SIB…PFSの手法の1つで、自治体と民間事業者が連携して、資金提供者から調達する資金をもとに、社会課題を解決する行政手法



#### 体力・運動能力 向上事業

拡充 予算額 168万5,000円



学校体育の指導資料および体力についての基礎資料を得るため、市立の小・中学校が実施している新体力テストの記録の調査集計・

分析を行い、課題解決に向けた情報発信や教員への指導・助言、研修会を実施します。

拡充内容 新体力テスト集計分析システムを導入し、子どもたちの運動習慣の定着を支援

#### あと70g野菜を食べよう 推進事業

拡充 予算額 296万8,000円



野菜をきっかけに、市民の健康増進や健康意識の向上を図るため、野菜摂取量拡大に向けた健康講座の開催や子どもの頃からのしよいく（植育・食育）等を実施します。

拡充内容 ベジチェック設置エリアの拡大、調理実演を取り入れた健康講座を開催

#### 学校・児童生徒・家庭をつなぐ 支援事業

予算額 323万4,000円

欠席連絡やメッセージ配信など、学校と保護者間の連絡手段をデジタル化する機能に加え、1人1台の端末を活用し、児童生徒の心身の状態をチェックする機能をもつデジタル健康観察アプリを市立の小・中学校に導入します。



次のページでは、「まちの健康」と「みらいの健康」をお伝えします。